

子育て支援による 女性・若者転出防止策の提案



01

日立市の現状

02

提案内容について

03

調査結果

04

子ども食堂と学習支援

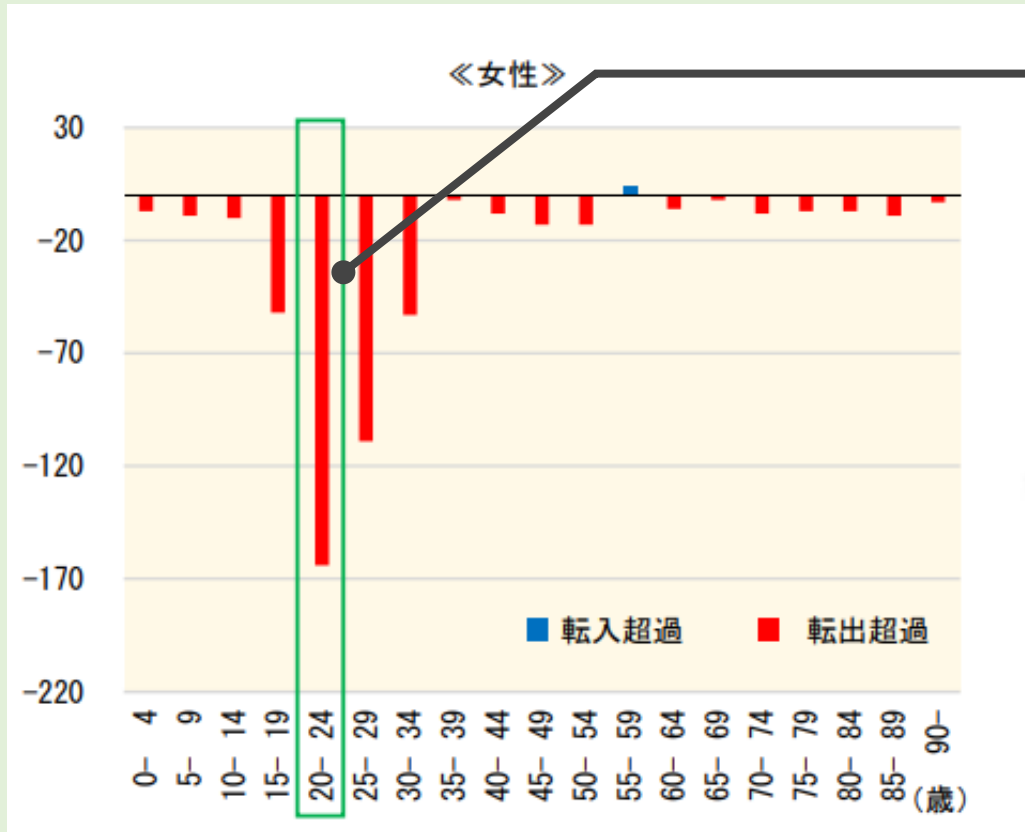
05

課題解決に向けた提案

06

まとめ

年齢別社会増減（令和元年）



左記の図でもわかるとおり、
女性の転出のピークは

20歳～24歳！

転出防止策の提案は
難しいと考えた

出典：住民基本台帳データ／

https://www.city.hitachi.lg.jp/shisei/004/002/p096034_d/fil/genjou.pdf



目 的

日立市の子どもたちが、集まれる場所を作り、
将来の若者とその母親である女性が
住みやすい地域コミュニティの形成

内 容

家庭・学校に次ぐ

「第三の居場所」づくり

子ども

5～10年後に
若者になる層

近い将来

日立市の若者となる

小中学生をターゲット



さらなる調査

対象者

日立駅前街頭

茨城キリスト教大学学生・アンケート 計320人

手段

Google Form

目的

若者や子育て中の方が求める日立市の姿の把握

アンケート結果

Q. 日立での生活をより良いものとするために必要だと思う施設やサービス、イベント等（自由記述）



住民同士が交流できるイベントが欲しい

異なる世代と交流出来る場所の提供

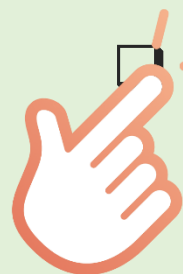
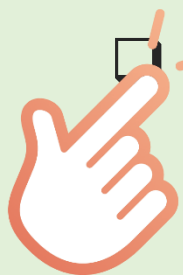


保護者が周りの目を気にせず

安心して子供を遊ばせることが出来る場所が欲しい

アンケート結果（自由回答）

- 飲食店の展開
- インスタ映えスポット
- 観光スポット
- 就職支援
- 期間限定キッチンカー
- 空き家の活用
- こども食堂
- 大規模イベント・祭り・行事の充実
- イベントの宣伝方法の改善
- 公園や広場の充実
- 親のリフレッシュ・相談の場や機会の提供
- 学習支援



こども食堂



子どもが一人でも行くことのできる 無料または低額の食堂

生活に困窮している家庭の子どもだけに食事を提供するわけではなく、どんな子どもでも参加できるユニバーサルな取り組み。実際には、子どもやその保護者だけでなく、地域の高齢者なども参加して一緒に食事をしていることもある

子ども食堂とは？メリットや取り組み事例、課題、必要な解決策を紹介：朝日新聞SDGs ACTION!

(asahi.com)

学習支援

子どもの学習環境を提供する ボランティア

- 学習支援教室で勉強を教える
- 何らかの理由で学校に行けない子どもたちにフリースクールで勉強を教える
- 病気で学校に行けない子どもたちに病院で勉強を教える
- 学校の教育活動や環境整備を支援する 等

日立市の子ども食堂・学習支援

日立市地域子ども食堂のご紹介

「孤食」を無くす！子どもたちと地域住民の多世代交流の場

わくわく十王クラブ(十王交流センター 十王町友部 129-2)

開催日時: 第3木曜日、17時～19時

わくわく十王クラブ

みんなの居場所 みなみ風(南部支所2階 和室 久慈町7-1-1)

開催日時: 第2火曜日、15時～19時

NPO 法人ふれあい坂下

おかえり!ごはん食堂(弁天町1-11-4)

開催日時: 第3月曜日、17時～19時

おかえり!ごはん食堂実行委員会

なるさわドリームズ(成沢交流センター 中成沢町3-6-10)

開催日時: 第1・3金曜日、17時～19時

なるさわドリームズ

諏訪ひまわり食堂(介護支援センター 諏訪町1-20-18) 諏訪ひまわりの会

開催日時: 第2月曜日、17時～19時・第4土曜日、正午～14時

塙山みんなのカフェ(塙山交流センター 金沢町2-11-5)

開催日時: 毎週木曜日、17時～19時

塙山みんなのカフェ運営委員会

のびのび みなみ風(事務所2階 南高野町3-9-8)

開催日時: 第1・3金曜日、17時～19時

NPO 法人ふれあい坂下

多賀り屋食堂(千石家2階 千石町1-3-9)

開催日時: 毎週火曜日、17時～19時

多賀り屋の会

※予約が必要な食堂もあります。

感染症対策を講じて運営しておりますが、緊急事態宣言や、まん延防止措置等の場合、

開設時間等の変更や休止している食堂もあります。

事前の確認をお願いします。

問い合わせ先: 日立市社会福祉協議会 電話: 37-1122

経済的に困っている世帯の 小学4年生から中学3年生を対象とした無料学習塾

費用	無料			
学習内容	基礎的なレベル～高校受験レベルまで、子どもの学力に応じた個別指導方式			
日時	十王教室	木曜日	小学4年生～ 中学生	17時～20時 30分
	日高教室	金曜日		
	日立教室	火曜日		
	多賀教室	水曜日		
	南部教室	火曜日		
	中学生教室 ※日立教室 と同じ場所 で開催	土曜日	中学3年生	13時30分～ 16時30分
参加要件	原則として、以下の要件のいずれも満たしていることが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ・市内に在住している小学4年生から中学3年生 ・生活保護世帯又は就学援助を受けている世帯 			

子ども食堂へのインタビュー

みんなの居場所

みなみ風

南部支所 2階 和室 久慈町 7-1-1

開催日時: 第2・4火曜日、16時～18時30分

7～25歳100円
大人300円

のびのび みなみ風

事務所 2階 南高野町3-9-8

開催日時: 第1・3金曜日、17時～18時30分

運営: NPO法人ふれあい坂下 代表理事 川崎真理子さん / 日立市社会福祉協議会

「多賀り屋食堂」

千石家2階 千石町1-3-9

開催日時: 毎週火曜日、17時～19時

子ども100円
大人300円
(限定20食)

子ども食堂が抱える共通した課題

1

子どもの受入れ人数に限界がある

2

運営スタッフの不足

3

資金や場所の問題

4

子ども食堂同士のコミュニティがない

これから提案すること

課題 1

子どもの受入れ
人数に限界がある

解決策

新規で
こども食堂を
立ち上げる

課題 2

運営スタッフの
不足

解決策

広報に
力を入れる

課題 3

資金や場所の問題

解決策

日立市内に
設置されている
交流センターを
活用

課題 4

子ども食堂同士の
コミュニティが
ない

解決策

日立市かがやき
応援団の
ネットワークを
活用する

提案名：日立かがやき応援団

日立市に登録している子ども食堂、学習支援を行う団体間のネットワークを形成し、子どもへの支援環境を充実させ、日立市の子どもたちが、集まれる場所（第三の居場所）を作り、将来の若者とその母親である女性が住みやすい地域コミュニティの形成を目指す。

さらに、新規で活動を行いたい方を応援することを目標とする。

提案をすることでのメリット

1. 支援団体間での情報共有がスムーズになることで、常に協力しあえる環境が整い、支援団体のサービスの向上につながる

2. 支援団体間で情報を共有することで、お互いの取り組みが分かり、お互いの現状、問題を把握できる。

3. 新たに活動を始めたい人の育成環境が整い、活動を始めやすくなる。

子ども食堂を運営する人が足りない

日立市社会協福祉協議会が出している、「日立市地域子ども食堂のご紹介」では子ども食堂の案内のみとなっており、新たに子ども食堂の運営を考えている人やスタッフ募集および食材・資金等への広報が不足している。

課題の対策として・・・

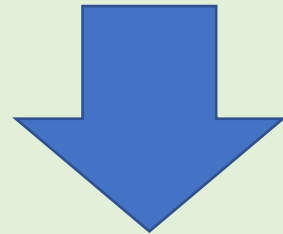
1 広報の充実

東京都八王子市を参考に、子ども食堂、学習支援に関する広報を充実させる

<https://kosodate.city.hachioji.tokyo.jp/soshiki/kodomonoshiawaseka/604.html>

2 子ども食堂を運営をしている方と運営したいと希望している方が交流できるような機会の創出

支援団体の環境を充実させ、これからの日立市を担う子供たちの満足度の向上を図る



自分が輝ける居場所を確保することで、日立市での生活の質を向上させ、将来、日立市で働き続けたい、住み続けたいと思える。

参考資料・取材協力

参考資料

- 日立市公式HP「経済的に困りの世帯の小学4年生から中学3年生を対象とした無料学習塾について」
<https://www.city.hitachi.lg.jp/shimin/003/005/p059623.html> (2024.1閲覧)
- 日立市社会福祉協議会 [PDF] 日立市地域子ども食堂のご紹介

取材協力

- 日立市 生活環境部 女性若者支援課
- 日立市 都市建設部 住政策推進課
- NPO法人ふれあい坂下 代表理事 川崎真理子さん
- 茨城キリスト教大学教員 目黒周作先生